

HONDA
The Power of Dreams

How we move you.
CREATE ▶ TRANSCEND, AUGMENT

個人投資家向け会社説明会

本田技研工業株式会社

- **会社概要**
- **事業紹介**
- **事業戦略**
- **財務戦略および株主還元**

- **会社概要**
- 事業紹介
- 事業戦略
- 財務戦略および株主還元

HONDA

The Power of Dreams

【Honda】会社紹介映像

- 社名
本田技研工業株式会社
- 本社
〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1
TEL. 03-3423-1111(代表)
- 設立
1948年(昭和23年)9月
- 代表者
取締役 代表執行役社長
三部敏宏
- 主要製品
二輪車、四輪車、パワープロダクツ
- 資本金
860億円
- 売上収益
16兆9,077億円
- 従業員数
連結 197,039名
単独 33,065名
- Hondaグループ会社
連結子会社 313社
持分法適用会社 69社

世のため人のため 自分達が何かできることはないか

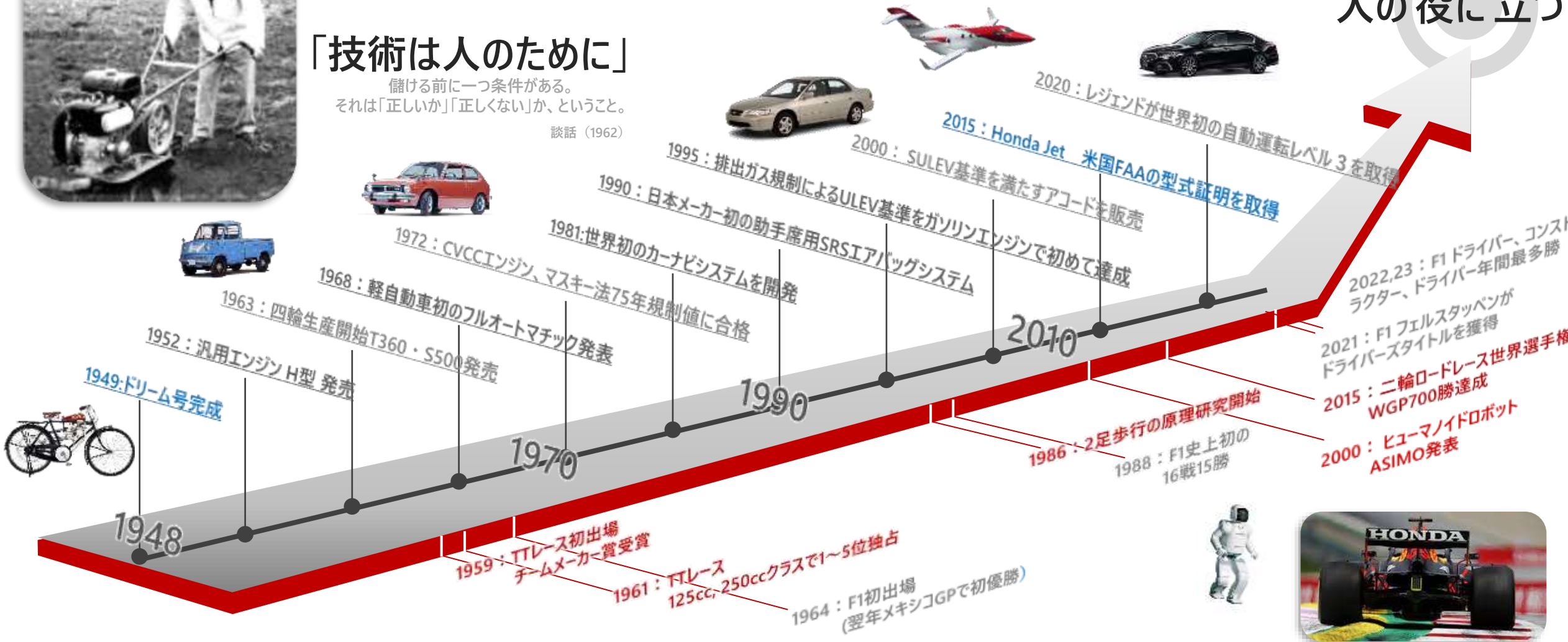
「技術は人のために」

儲ける前に一つ条件がある。
それは「正しいか」「正しくないか」ということ。

談話 (1962)



人の役に立つ



- 会社概要
- **事業紹介**
- 事業戦略
- 財務戦略および株主還元

(千台以下、四捨五入)
(2022年4月-2023年3月)

全世界販売台数

1,876万台

欧州
35万台



CB750 Hornet (欧州)

アジア
1,611万台



ACTIVA (インド)



VISION (ベトナム)



BeAT (インドネシア)

日本
25万台



ダックス125 (日本)

北米
46万台



FOURTRAX RANCHER (北米)



CRF125F (北米)

その他
160万台



BIZ 125 (ブラジル)

マーケット・カテゴリー毎の特性・状況に合わせた事業を推進

(千台以下、四捨五入)
(2022年4月-2023年3月)

全世界販売台数

369万台

欧州
8万台



JAZZ (欧州)

アジア
174万台



BREEZE (中国)

日本
55万台



N-BOX (日本)

北米
120万台



CR-V (北米)

その他
11万台



HR-V (ブラジル)



CITY (タイ)



HondaJet Elite II



HondaJet Echelon



CR-V FCEV (公道テスト車)



いすゞ・Honda共同研究車両
「GIGA FUEL CELL」



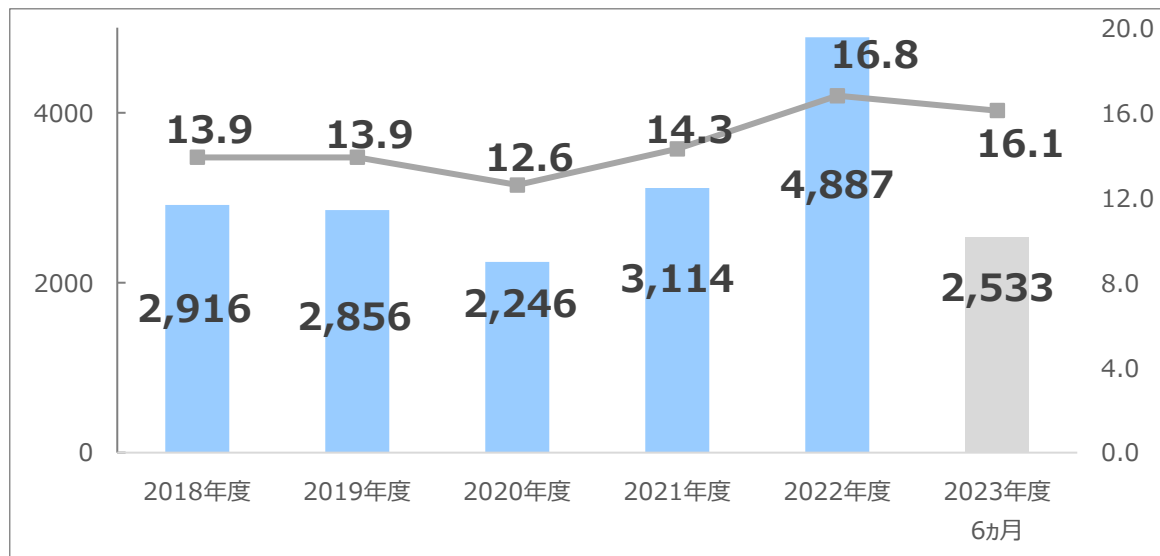
Sony Honda Mobility「AFEELA」



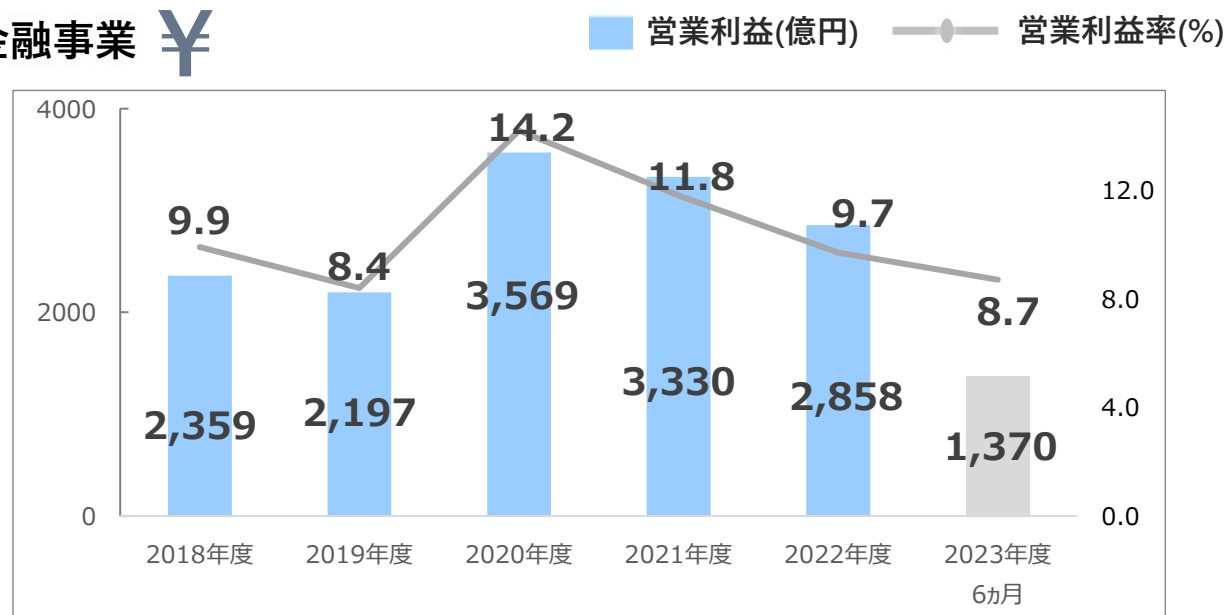
2026 年から FIA に参戦し、Aston Martin Aramco Cognizant Formula One® Team と
2026 年から施行される新レギュレーションに基づくパワーユニットを供給するワークス契約を結ぶことで合意

営業利益推移

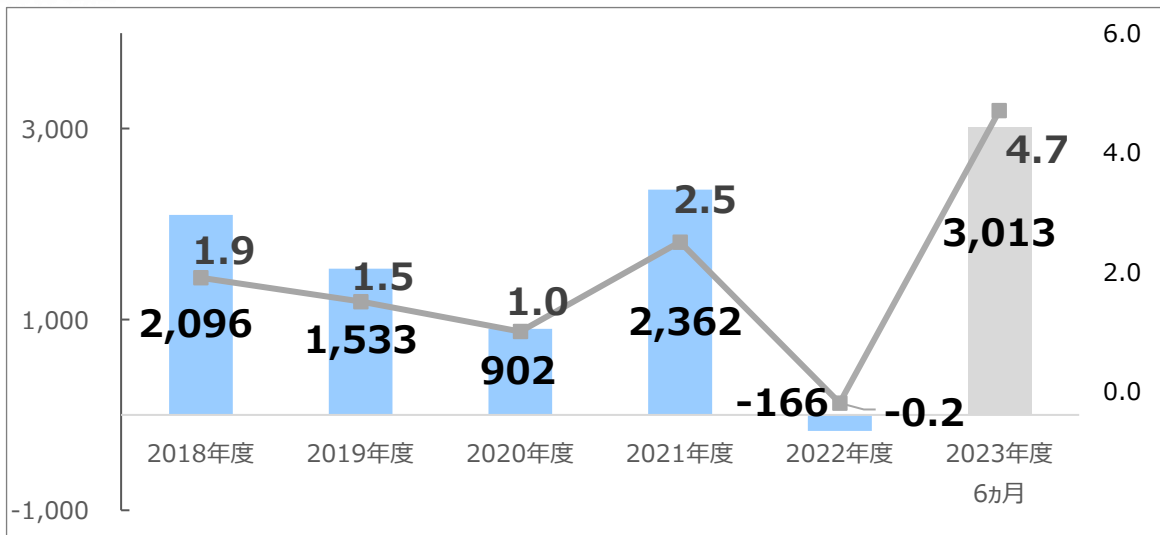
二輪事業



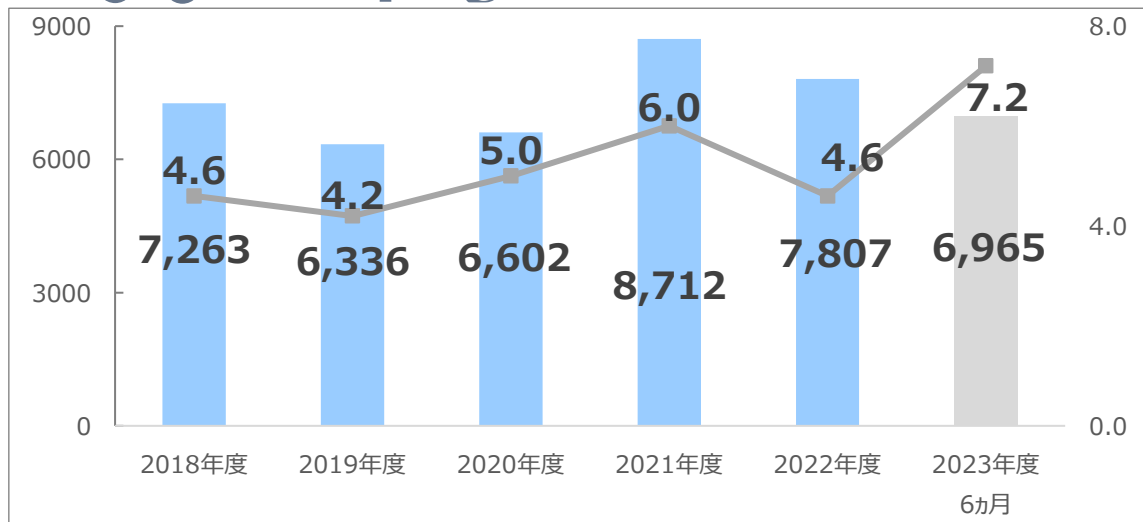
金融事業



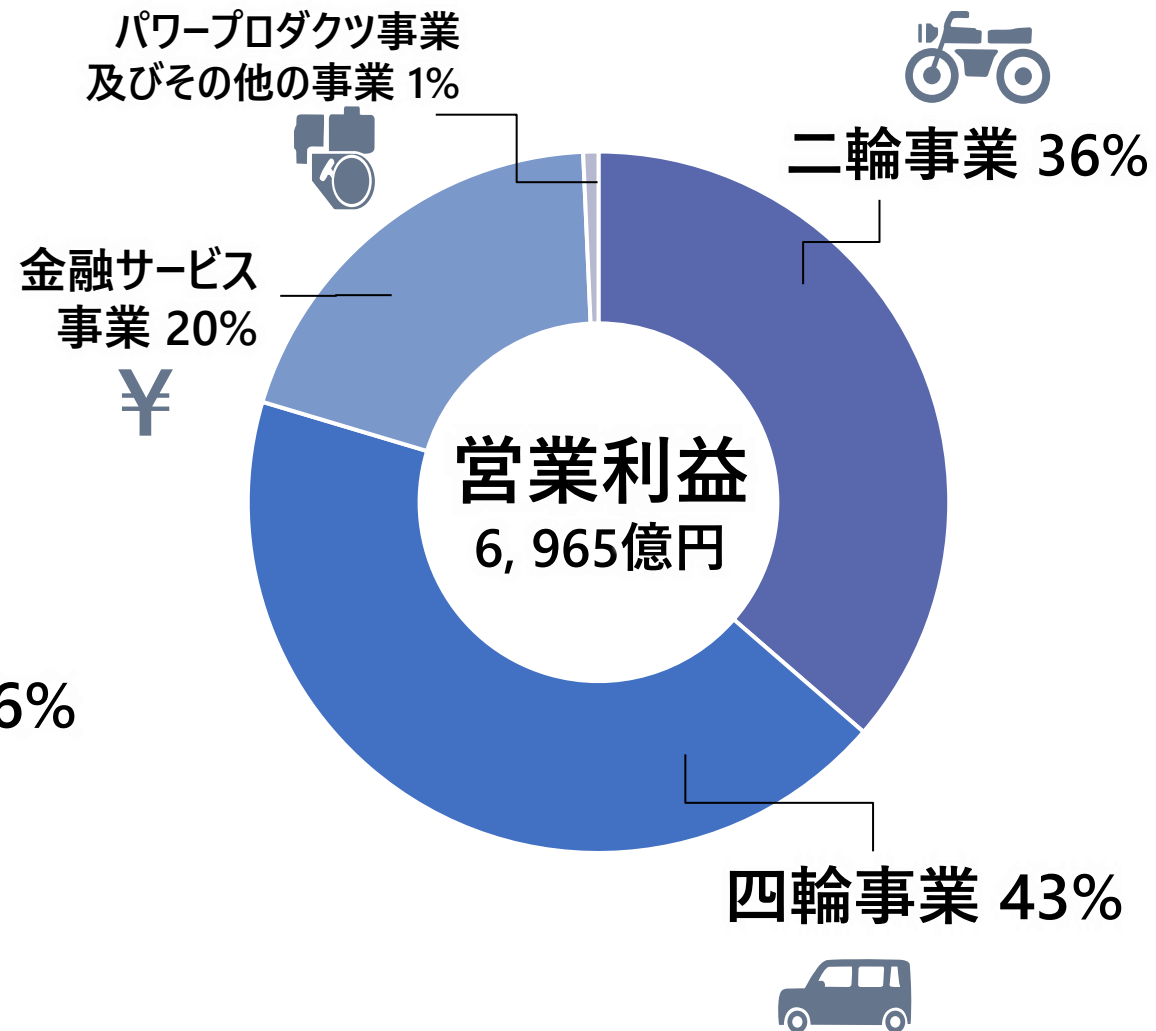
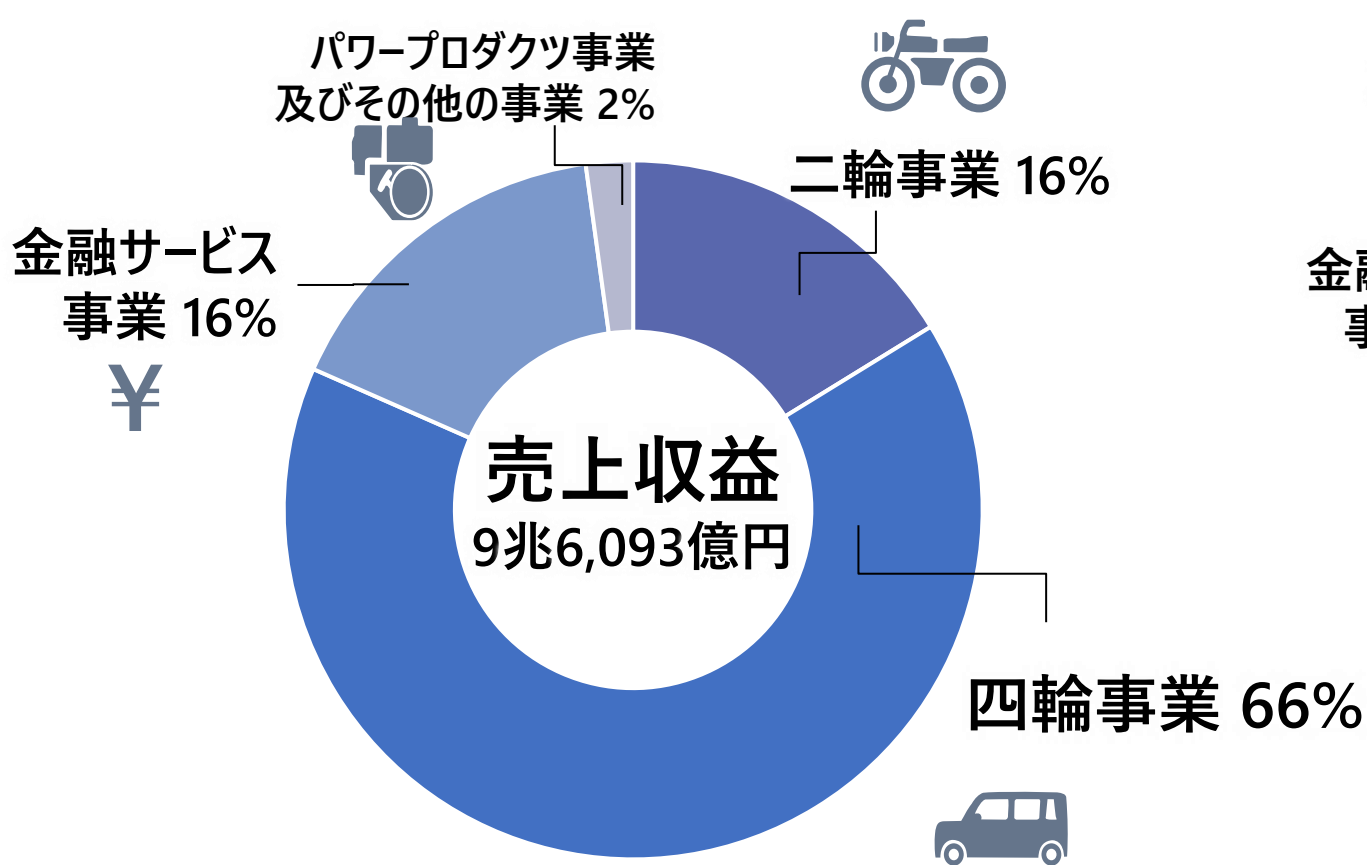
四輪事業



全体



2023年度 第2四半期累計 (2023年4月-9月)



- 会社概要
- 事業紹介
- **事業戦略**
- 財務戦略および株主還元

環境

全製品, 企業活動を通じた
カーボンニュートラル

環境・安全の目標

2050年

安全

Hondaの二輪・四輪が関与する
交通事故死者ゼロ

Mobility



Power unit



Energy



Robotics



リスクから解放された自由な社会
Active and Safe Society

もっと行動したくなる、温かみのある未来



ADAS機能進化

Honda
SENSING



Honda
SENSING
360



一人ひとりに合わせた安心

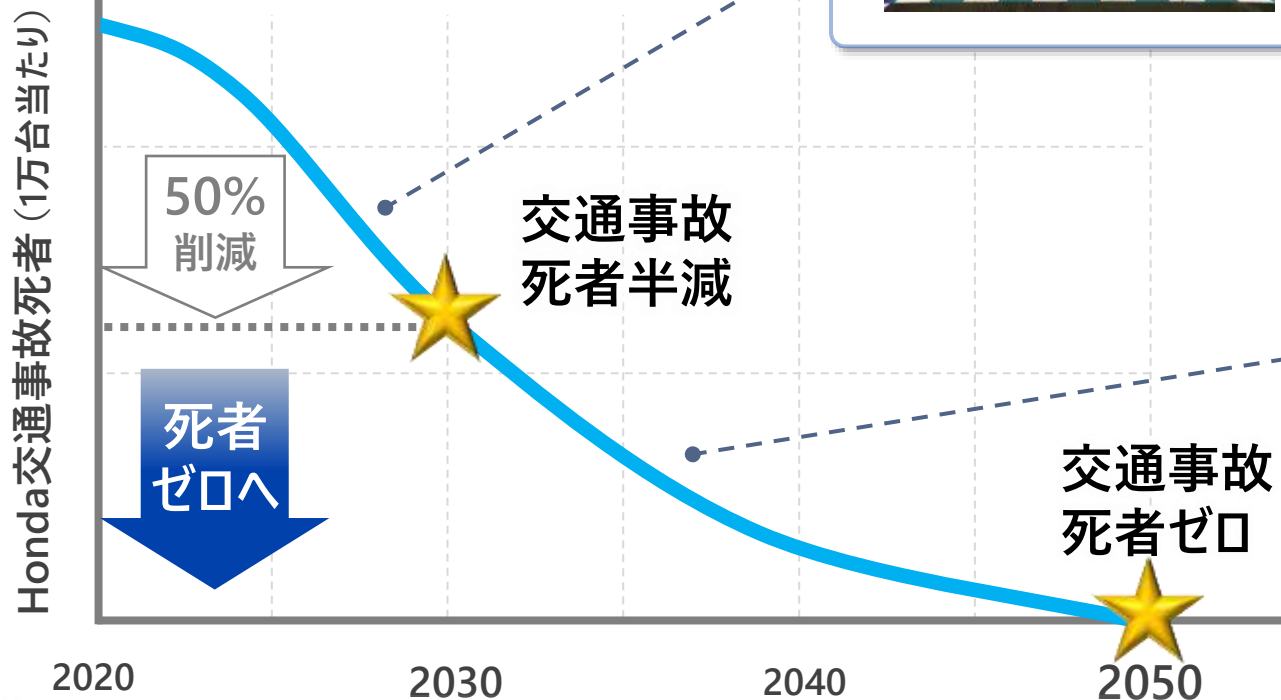
知能化運転支援技術

運転時のヒューマンエラーゼロを目指す

人 × AI



教育・啓発活動や法規制の働きかけ

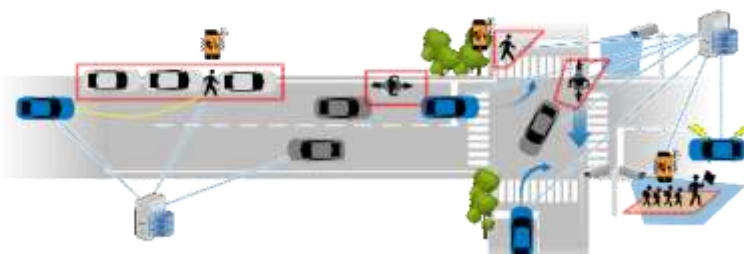


すべての交通参加者との共存

安全・安心ネットワーク技術

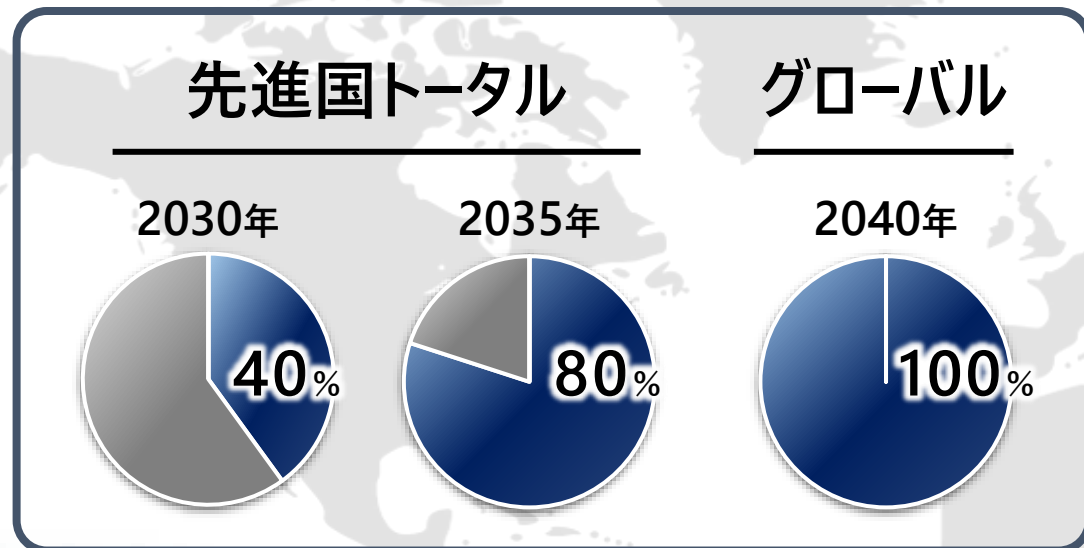
人・モビリティ・インフラがつながることで、多様なリスクを回避する

人 × AI × コネクト



2050年 全世界に於いて Hondaの二輪・四輪が関与する交通事故死者ゼロ

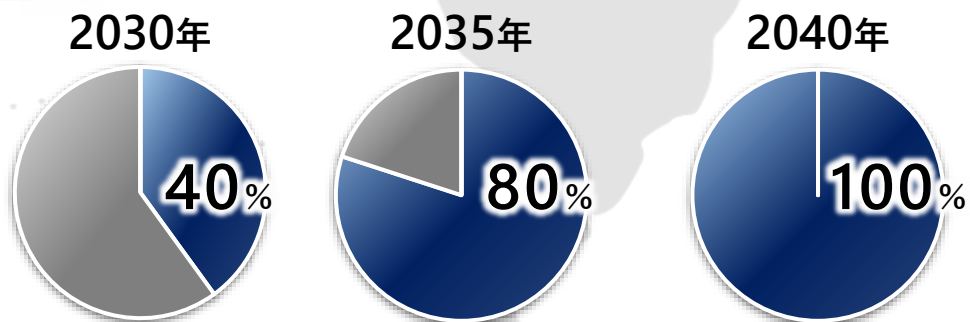
EV/FCVの販売比率



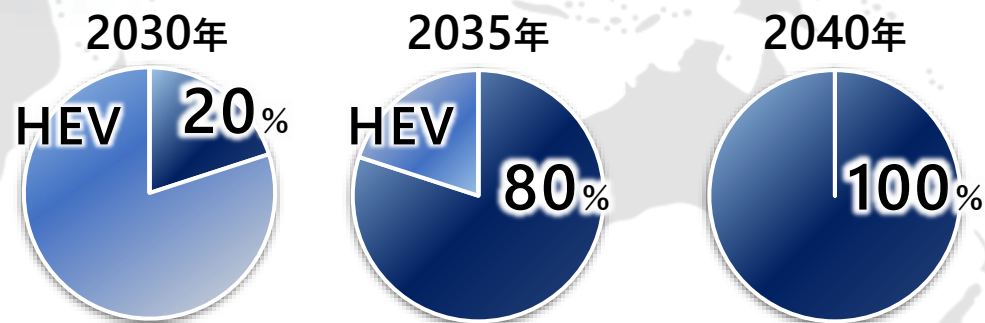
中国



北米



日本



2030年 ハイブリッド含めて100%電動化

四輪事業 グローバルEVラインナップ

欧州



e:Ny1

中国



e:NS1



e:NP1

日本



「N-VAN」ベースの商用車EV

北米



Acura ZDX Type S



Honda e



e:N SUV 序/e:NS2 Prototype/ e:NP2 Prototype/ e:N GT concept



「N-ONE」ベースのEV



PROLOGUE



EV専用プラットフォーム
中大型EV

アジア



SUV含む小型EV2機種

液体リチウムイオン電池（～2030年）

北米

GMとのアライアンス
(2024年～)



LG Energy Solution
LGエナジーソリューション
と生産JV設立



日本

Envision AESCより調達



GSユアサと共同開発



中国

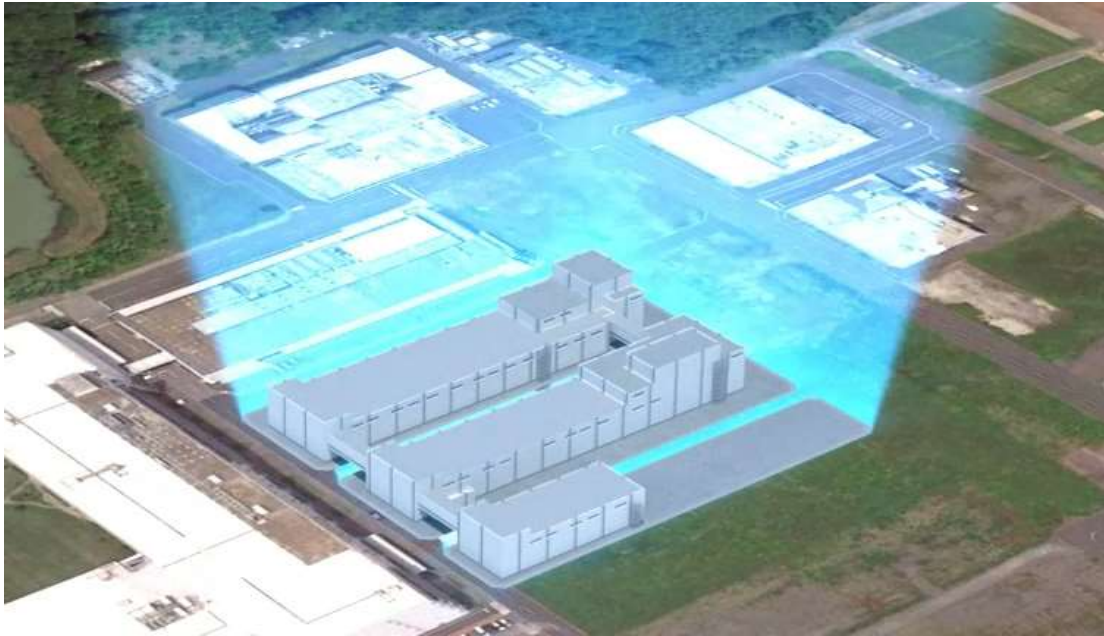
CATLとの連携強化



バッテリー調達JV設立
(広州汽車・東風汽車)
'24～'30年で123GWh分の安定調達
(e:Nシリーズ向け)

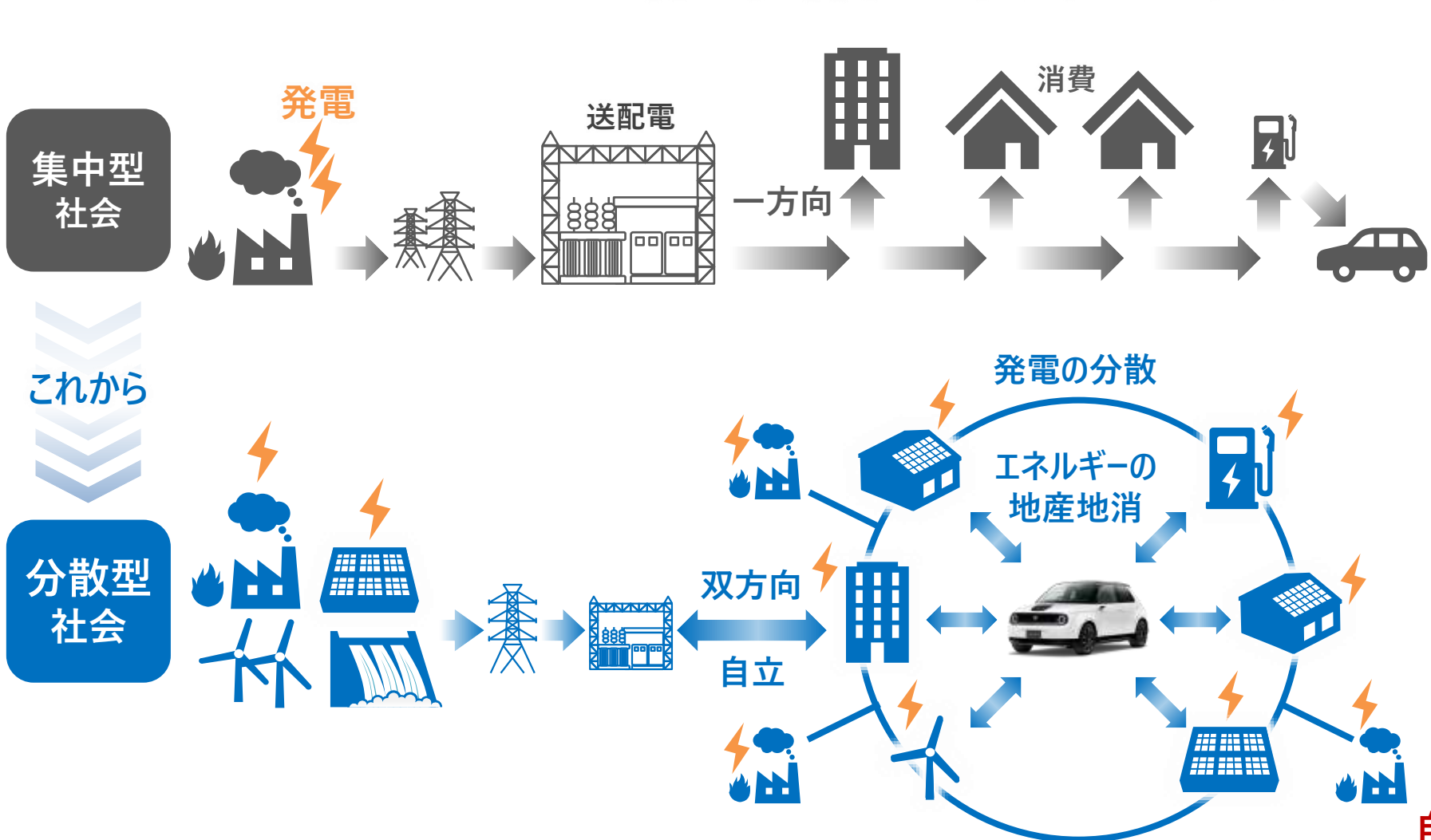
リチウムイオン電池の安定的な供給に向けて
「①地域特性に合わせ、②調達、生産、開発パートナーシップ強化」

2024年 栃木県さくら市に430億円を投資し実証ライン立上げ



次世代EVの価値をさらなる高みへと解放・拡張すべく、
2020年代後半の投入を目指し、全固体電池を研究開発中

再エネ時代のエネルギーシステム



自動車の役割・機能 **石油**

走る・曲がる・止まる・快適
低燃費・排ガス規制対応・・・

- ☑移動の自由
- ☑安全・安心
- ☑低環境負荷

自動車の役割・機能 **再エネ**

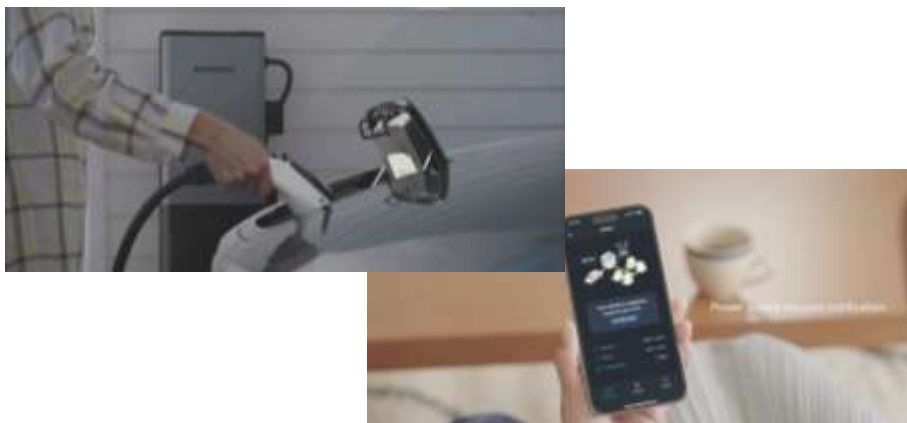
(従来の機能)
+
電力貯蔵

- ☑再エネ活用の最大化
- ☑自家消費最適化
- ☑レジリエンス(災害時復旧給電)

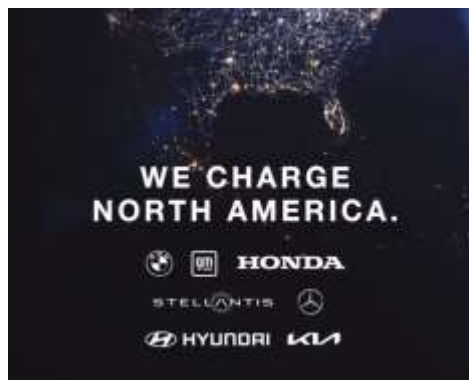
自動車はエネルギーを伝える媒体へ



次世代EV投入と共に、
自宅での充電環境の提供を加速



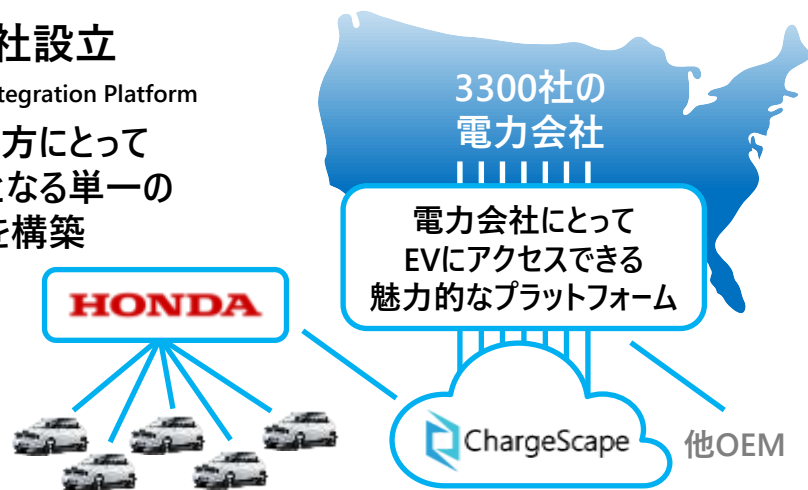
充電ネットワーク合併会社設立
2030年までに3万口を目標に充電器設置



OVGIP合併会社設立

※OVGIP : Open Vehicle-Grid Integration Platform

電力会社とOEM双方にとって
EV最適制御が容易となる単一の
プラットフォームを構築



スマート充電・V2Gを通じたエネルギーマネジメント事業



先進の制御技術によりEVユーザーの電力コストを最適化する
スマート充電・V2Gサービス・グリーン電力の提供

Honda独自のビークルOSを開発 2025年～中大型EVに導入



常に進化し続ける自動運転/先進運転支援機能、空間価値、デジタルサービスを提供

アメリカ オハイオ州の生産拠点



メアリズビル工場



イーストリバティ工場

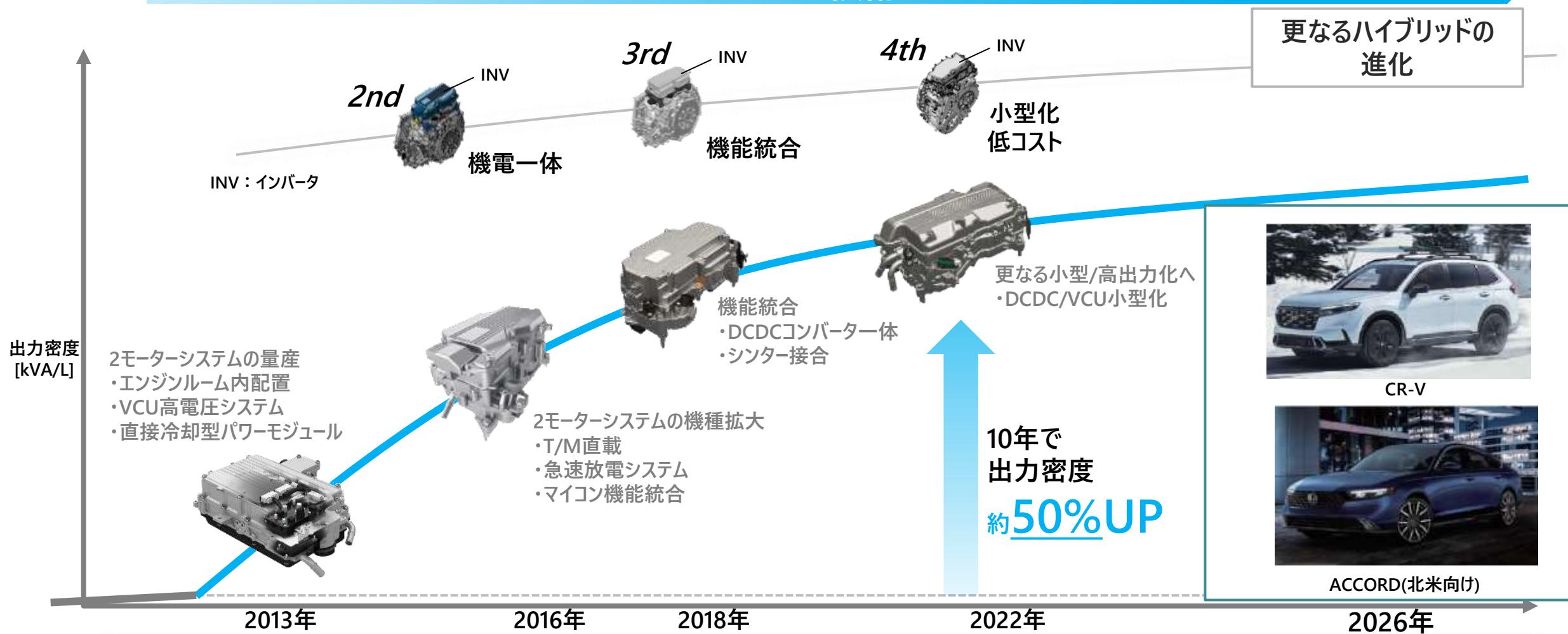


アナナ・エンジン工場

北米におけるEV生産のハブ拠点として
高効率かつフレキシビリティの高い生産体制を構築

四輪 ICE事業 ハイブリッドの進化

HEV技術



Hondaの強みである“ハイブリッド”についても手を緩めずに開発を推進
加えて「部品・配置を統一したモジュラーアーキ」と「BEV先進技術の共用化」に取り組み、
コスト効率の向上と先進安全技術など最新の価値をハイブリッドでも実現

電動車とICEの販売構成比



Hondaの強み

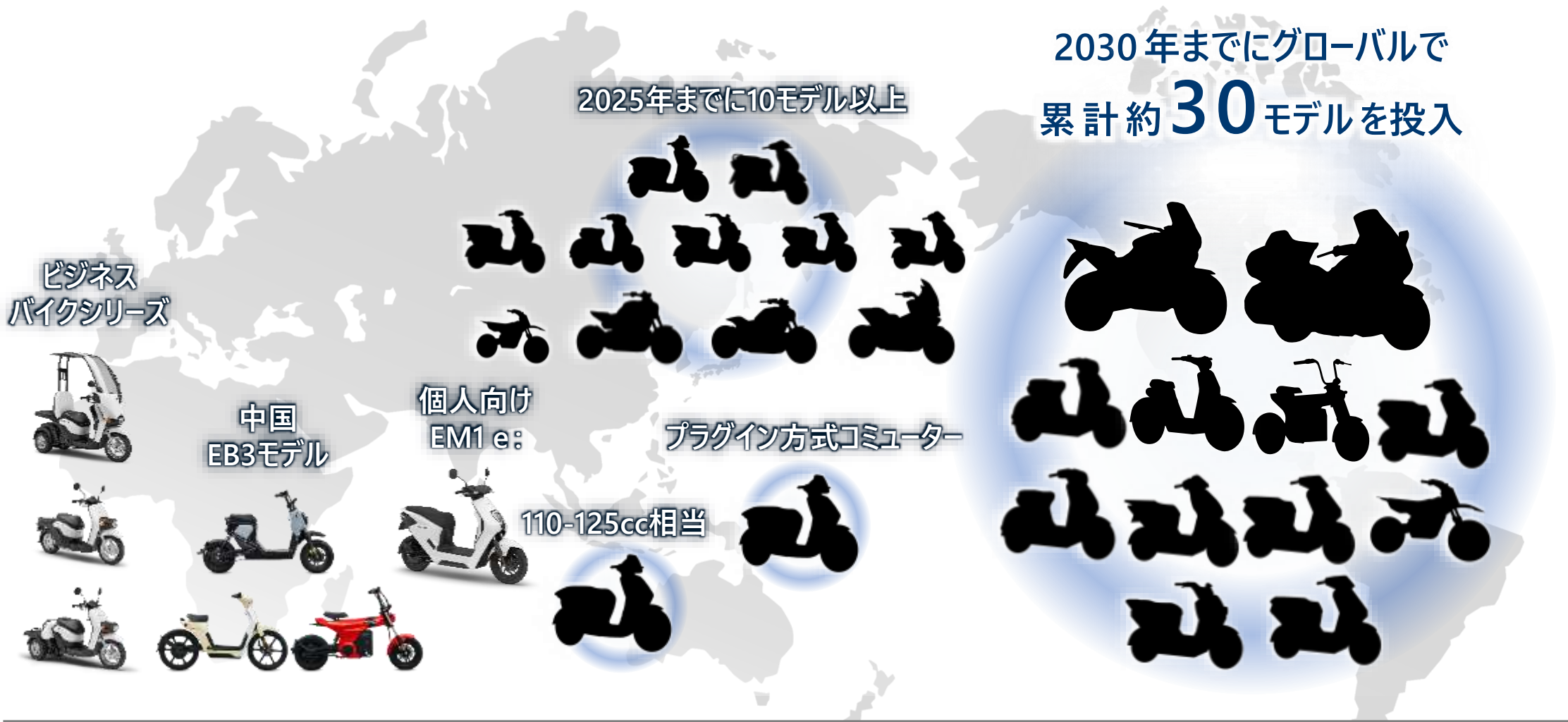
商品の
フルラインナップ展開

ICE搭載車で培った
開発・生産・調達能力

「走る・曲がる・止まる」の
基本性能と
コネクテビティを兼ね備えた
電動二輪車

3万店の販売網を活用し
オフライン・オンライン融合の
顧客接点

二輪 電動 グローバルラインナップ



2020年 2023年 **市場参入期** 2025年 **事業拡大期** 2030年 **事業本格拡大期**

ICEで培ったプラットフォーム共有化のノウハウを活用し
バッテリー、パワーユニット、車体をそれぞれモジュール化



モジュールプラットフォームの活用で効率よく
グローバルの様々な顧客ニーズに対応できる商品を展開

- 会社概要
- 事業紹介
- 事業戦略
- **財務戦略および株主還元**

企業価値の向上

財務・非財務資本の活用による
キャッシュ・フローの持続的な成長・資本効率の向上

①事業変革フェーズに応じた戦略的な資源配分

事業変革フェーズごとに目標設定と戦略的資源配分により変革を具体化・加速
事業変革のフェーズに応じた資源配分



②ガバナンスの強化とリスクマネジメント

③ステークホルダーとの対話

企業価値向上に向けた取り組み

事業変革のフェーズごとの目指す目標

2025年

2030年

ICE製品^{*1}事業の体質強化と
EV事業への資源投入

^{*1} ガソリン車やハイブリッド車含む
内燃機関製品

ROS^{*2}
7%以上

^{*2} 営業利益率

ICE製品からEVへの事業転換

EV事業の成長と
新たな価値の創造

5%以上

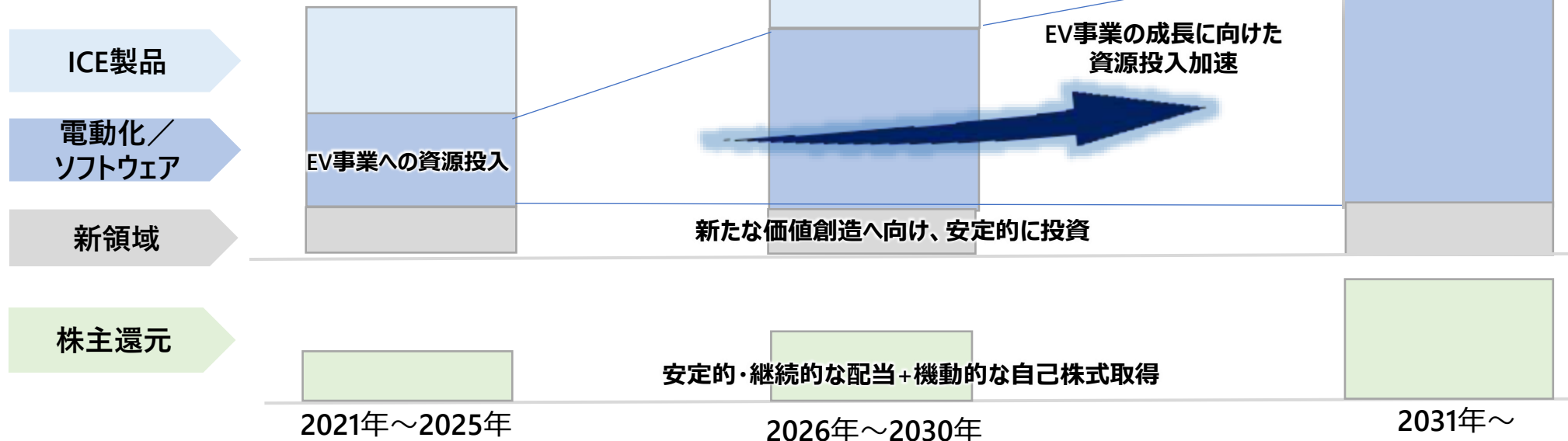
ROIC^{*3}
10%以上

EV事業の収益性
ROS

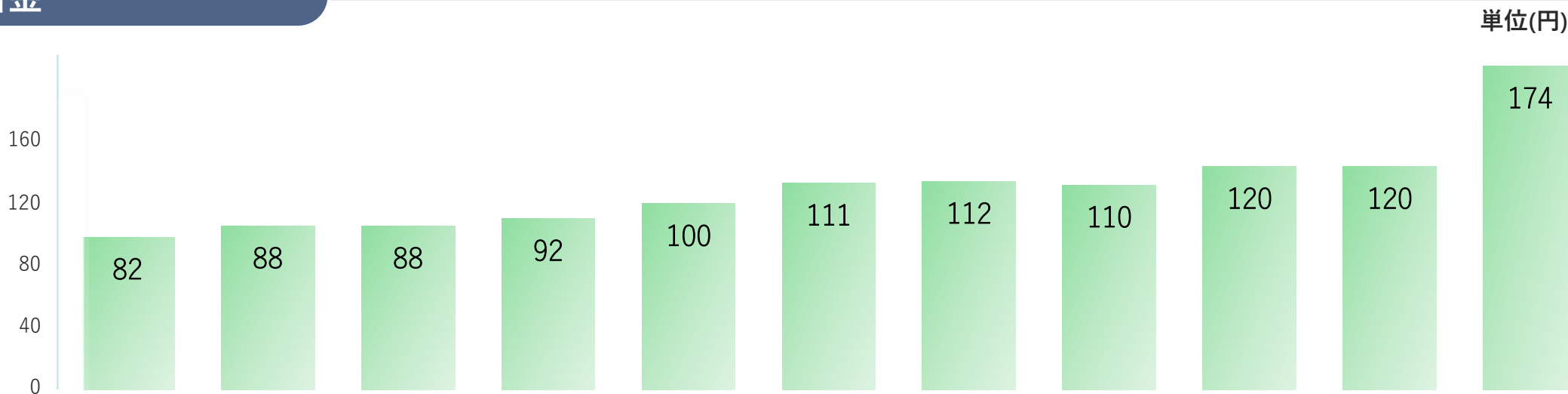
10%以上

^{*3} 親会社の所有者に帰属する当期利益
+ 支払利息 (金融事業を除く事業会社)
÷ 投下資本

戦略的な資源配分

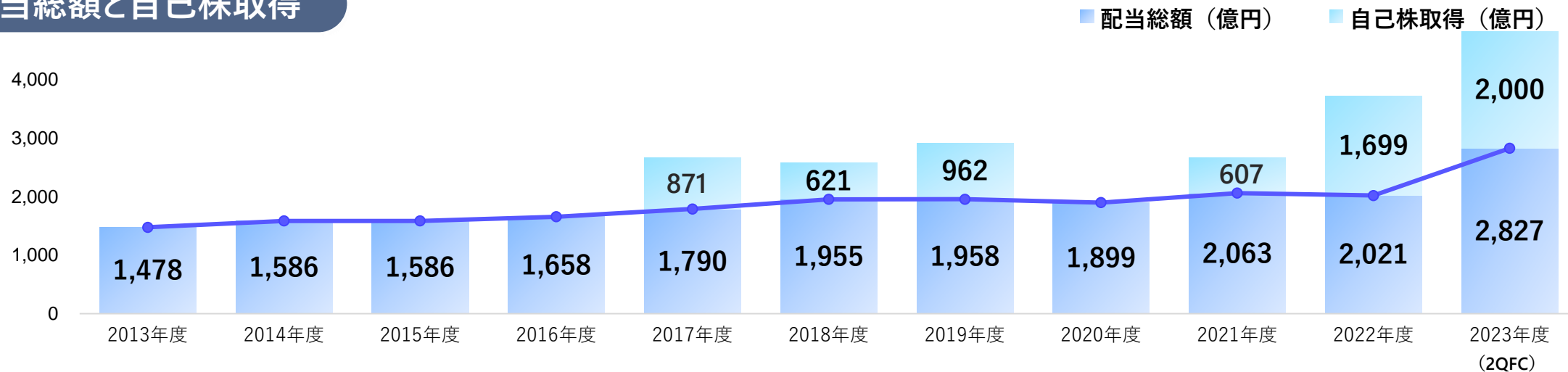


配当金



※ 2023年度は、2023年10月1日を効力発生日とした株式分割を考慮しない場合の年間配当金となります

配当総額と自己株取得



※ 2023年10月1日を効力発生日とした株式分割前の株式数を基準としています

2023年度 優待内容

株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに、長期にわたって保有してくださる株主の皆さまへ感謝の意を表すことを目的として、株主優待制度を導入しています。

基準日	保有株式数	保有継続年数	優待内容	
3月末日	100株以上	-	Hondaカレンダー	希望者全員
		1年以上	レースご招待	抽選
			Enjoy Hondaご招待	
		3年以上	事業所見学会ご招待	
HondaJet見学会ご招待				

※優待内容は毎年見直されます



Honda として2020年以来 4 年ぶりにCESに出展



Thick, Heavy but Smart (厚くて重い、けれどもスマート)

EV市場では、航続距離やデジタル技術を中心とする付加的な「スペック」を競い合う状態

結果、大きくて重いバッテリーを搭載し、付加的な価値としてのスマートさを追求

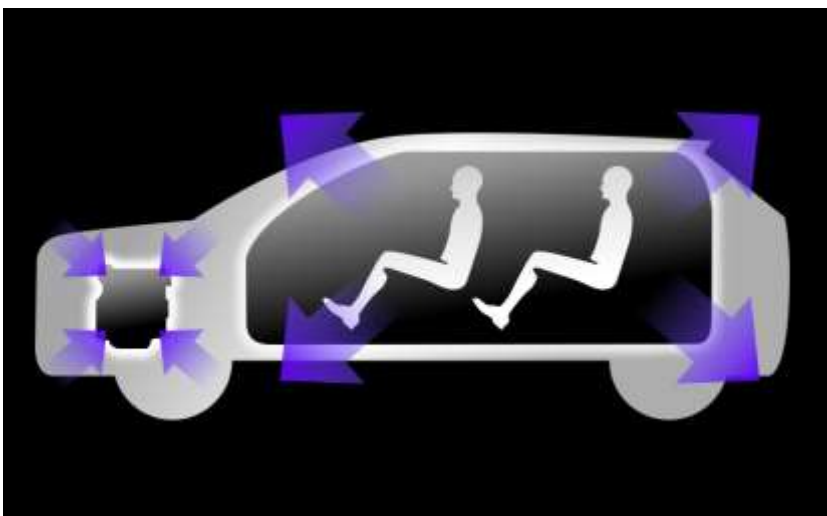


Thick, Heavy but Smart

お客様がEVに求めているものは何なのか？

Hondaの哲学・原点

-M・M思想-



マン・マキシмум／メカ・ミニмум
人間のためのスペースは最大に、
機械のためのスペースは最小限にして、
クルマのスペース効率を高めようとする、
Hondaのクルマづくりの基本的な考え方

-操る喜び-



Honda Sport DNA
自由な移動の喜びと
クルマと一体になる爽快感
自らハンドルを握り
車との一体感を感じられる

-自由な移動の喜び-

安心・安全

繋がる安心・楽しさ

交通事故死者ゼロ
の実現

パーソナライズされた
デジタルサービスの提供



AD/ADAS／衝突安全

IoT/コネクテッド

“人”の不安をなくすことで、
事故のリスクから解放し、
安心して自由に移動できる
社会を作る

新グローバルEV「Honda 0シリーズ」



- Honda のクルマづくりの出発点に立ち返り、ゼロから全く新しい EV を創造
- 新たな開発アプローチ：「Thin, Light, and Wise（薄い、軽い、賢い）」
- Honda 0シリーズを象徴するコンセプトモデル「SALOON」「SPACE-HUB」を出展
- 第1弾モデルを2026年 北米市場を皮切りに、日本、アジア、欧州、アフリカ・中東、南米へ投入予定

クロージング映像

HONDA
The Power of Dreams

How we move you.
CREATE ▶ TRANSCEND, AUGMENT

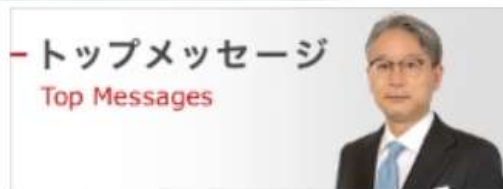
個人投資家向け会社説明会

本田技研工業株式会社

執行職 経理財務統括部長
川口 正雄

2024年1月22日
東証プライム：7267

IR・投資家情報



<https://global.honda.jp/investors/>

<主な発信内容>

- トップメッセージ
- 企業説明資料
- 決算発表
- 統合報告書
- Honda Stories
- Honda Innovation
- 他

YouTube



本田技研工業株式会社 (Honda) ●

HONDA

@HondaJPPR

チャンネル登録者数 28.9万人

<https://www.youtube.com/@HondaJPPR>

- トップメッセージ
- 決算説明会
- 二輪 四輪 パワープロダクツモデル紹介
- HondaJet
- モータースポーツ
- 先進の将来技術
- 新領域のチャレンジ
- 他